

千葉県北西部 渋滞対策 ～これまでの取組～

県北西部では、これまで道路の改善に向けて、様々な取組を実施。

- 外環道(H30.6)の千葉県区間の開通により、交通渋滞の緩和、沿道環境の改善に寄与。
- 妙典橋(H31.3)の開通により、江戸川の兩岸地域の利便性の向上、新たなルート確保による交通の分散化。
- 京成本線(H19.11)や京成松戸線(R元.12)などの高架化により、踏切に起因する交通渋滞や事故を解消。

取組 連続立体交差事業

- ・ 駅利用者の安全性・快適性が向上
- ・ 駅周辺交通の円滑化により駅へのアクセス性が向上(遮断時間解消)

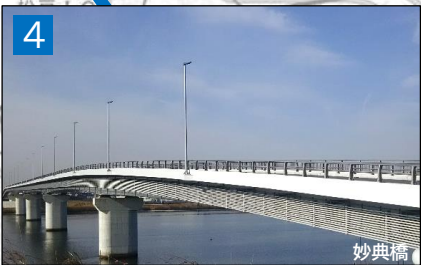


右 : 京成松戸線(新京成線)連続立体交差事業(北初富駅、新鎌ヶ谷駅、初富駅)
中央 : 東武野田線(鎌ヶ谷駅付近)連続立体交差事業(馬込沢駅～六実駅間)
左 : 京成本線連続立体交差事業(京成船橋駅、大神宮下駅)



取組 妙典橋(H31供用)、行徳橋(R2供用)

- ・ 市街地間の移動時間短縮
- ・ 近隣橋りょうの渋滞が緩和



左：県道船橋行徳線 妙典橋



右：県道市川浦安線 行徳橋

取組 交通安全対策事業

- ・ 歩道整備により通学路における安全性が向上
- ・ 子供たちが事故に遭うリスク軽減



左：国道296号 交差点改良事業



右：県道柏流山線 歩道整備事業

取組 外環道(H30供用)

- ・ 開通によるネットワークの多重化により柔軟な経路選択が可能に
- ・ 抜け道として利用されていた生活道路の交通量が約4割減少。

取組 国道357号舞浜立体(R2供用)

- ・ 舞浜交差点を利用する通過交通が、舞浜立体へ転換し安全性向上。
(千葉方面で約6割、東京方面で約9割が転換)
- ・ 舞浜交差点周辺で運行している路線バスの定時性が向上。



左：東京外環自動車道(千葉県区間)



右：国道357号 東京湾岸道路(舞浜立体)